



# 辻川だより

発行 辻川区 [辻川公民館]  
〒679-2204 福崎町西田原 1227  
TEL 0790-22-5763  
HP [http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public\\_html/](http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public_html/)

第58号 [2021 夏号] 令和3年7月3日発行

「参画と協働・・・」

区長 鈴木健文

盛夏の候、辻川区の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平年より梅雨入りが二十日以上早く長期化予報。コロナ禍で不安な状況の中、五月二十三日(日)早朝より多数の方の参画協働により梅雨の晴れ間の暑い日に溝普請ができました。本当にご苦勞様でした。

本年は七月十一日(日)に辻川公民館にて「人權・青少年健全育成自治会研修会」を開催致しますので一人でも多くの方の参加をお願い申し上げます。尚、今年も残念ではありますが、八月初めに開催予定だった「民俗学のタベ」「手作りの吊り灯籠飾り」は中止とします。新型コロナウイルス接種も始まり、少し光明が見えてきました。接種対象の方は安心安全のため接種をお薦めします。但し油断大敵、接種後もマスク着用、手指洗いと消毒は継続しましょう。さて、自立(律)のまちづくり交付金事業として本年度は「辻川村史(仮称)」を作成し各戸への配布を考えています。既に「辻川歴史研究会」の皆様で作成された資料の活用と、歴史ある辻川区の由来から現在に至るまでの風習慣習言い伝え等、皆様がお持ちの貴重な資料情報を併せて、区民全員の方の参画・協働で「村史」を作成したいと思っております。何卒ご協力をお願いします。最後に今夏も「感染症」とともに「熱中症」の三重苦に直面します。こまめな水分補給、十分な睡眠、食事をとり無理をしない万全な「熱中症対策」をたて元気に過ごしましょう。

## 協議員会は今

4〜6月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。  
① 自立(律)のまちづくり交付金事業について

- ・広報誌「辻川だより」作成
- ・辻川村史(仮称)作成と各戸への配布
- ・環境美化活動の実施

辻川山及び鈴の森神社境内周辺の草刈り、剪定、草引き、落ち葉の処分等

- ・自主防災避難訓練  
11月の予定

② 秋季例大祭 祭典委員会組織について

③ 「民俗学のタベ」の実施について検討 ↓ **中止**

④ 「吊り灯籠飾り」の実施について検討 ↓ **中止**

※福崎町主催の山桃忌も講演会はウェブ配信となりました。

⑤ 沖縄民俗芸能は実施されます。溝普請、雲津川清掃の実施  
⑥ 辻川山公園周辺清掃

⑦ 人權学習&青少年健全育成研修会

⑧ 町内一斉クリーン作戦

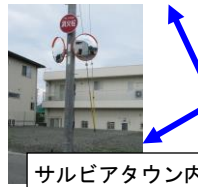
⑨ 事業補助金申請認可

- ・放送設備(南方面)修繕
- ・防災倉庫の修繕

- ・消火器員庫 取替え2ヶ所
- ・令和2年度要望
- ・カーブミラー新設2ヶ所



公民館の南



サルビアタウン内

## 当面の予定

7/3(土) 隣保長・各種団体代表役員会議

7/11(日) 19時

人權・青少年健全育成自治会研修会

7/31(土) 辻川山公園周辺草引き清掃 8時30分

5月が中止になったため、今回も3ブロック中心にお願いします。  
8/1(日) 町内一斉クリーン作戦 午前7時〜

熱中症対策で、開始時刻を早めに設定しています。

8/7(土) 民俗学のタベ及び灯籠飾り ↓ **中止**

9月中旬 隣保長各種団体会議

## 祭礼行事のお知らせ

◇7月4(日) 夏えびす

10時に神主様お祓(はら)い。一戸あたり賽銭200円をお願いしています。

◇7月11(日) 夏まつり

10時に神主様お祓(はら)い。井ノ口と一緒に神事を執り行います。

皆様、ごつそお詣り下さい。  
[宮当番 2 隣保 有井]

## 事業報告

新型コロナウイルスの影響で、昨年度に続いて多くの行事が延期や中止となりました。

◆4月3(土) 辻川界隈展

福崎町主催の民俗辻川場まつりに併せて開催予定だった「辻川界隈まるごとスタンプラリー」 ↓ **中止**

◆5月29(日) (祝・木) 辻川公園周辺の清掃

↓ **中止**

福崎町の次の行事も中止に。

◆子供会球技大会

◆町消防団消防操法大会

◆福崎夏まつり

◆自治会対抗親善

ソフトボール大会

## マムシ注意

山口堂周辺にマムシが出ています。

気をつけて下さい。



山口堂横の注意の看板

◆4月3日(土)

◆隣保長・各種団体役員会議

- ① 今年度の「自立(律)のまちづくり」の交付金事業について
- ② 溝普請についての説明
- ③ 人権・青少年健全育成自治会研修会

- ④ 「民俗学」のタベ「吊り灯笼」について
- ⑤ 町内一斉クリーン作戦
- ⑥ 辻川山公園周辺の清掃
- ⑦ 隣保長及び宮当番の任期の再確認

- ⑧ 辻川区内の回覧・配布物 毎月第1・第3木曜までに区長宅に
- ⑨ 広報誌「辻川だより」 第57号発行
- ⑩ 各団体新役員紹介

- 老人会 第一クラブ会長 上延英一 第二クラブ会長 上延博昭 会計 高井紳一
- 女性部 会長 駒田美幸
- 農工部会 会長 植田弘造

- 消防団 分団長 村井宏行 副分団長 内藤大智、田崎大資
- 青年団 団長 松岡虎次朗 副団長 多田海斗、藤原駿
- 農業部会 会長 上延英一 副会長 内藤隆夫、会計 鈴木和満
- 会計 松岡豊

子ども会 会長 駒田忠成、

副会長 大垣和徳、会計 清水裕介

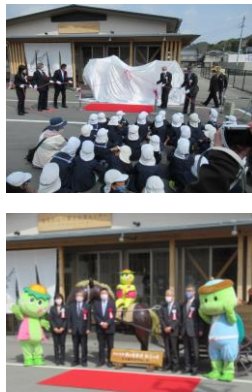
書記 戎信吾

中学PTA 会長 佐谷弘樹

副会長 萩原泰美、会計 中安由衣

◆「銀の馬車道」モニュメント完成お披露目式

3月29日(月)、辻川観光交流センターに新しくお目見えした「銀の馬車道モニュメント」の完成お披露目式が行われました。主催は銀の馬車道ネットワーク協議会(中播磨県民センター・県民交流室産業観光課)で、主催者挨拶等に引き続き除幕式が行われました。



モニュメントについて紹介します。①銀の馬車道のキャラクター「ハヤブ」に福崎町のキャラクターのカップの「サキちゃん」が乗馬しています。高さは2mあります。②荷台に子ガッパ2体が乗っています。③馬車の御者台に乗って写真撮影等が可能です。④手綱を引くと

30秒間声を発します。⑤夜はライトアップされます。

「存じの方も多いとは思いますが、「銀の馬車道」について、少し紹介します。

「銀の馬車道」は、生野鉱山と飾磨港の間を結ぶ馬車専用道路として明治9年に完成しました。当時、明治政府は近代化を進めるために、生野鉱山を官

営鉱山とし、ヨーロッパの最新技術を導入して資源大国をめざしていました。しかし、大量の鉱石(主に銀)の輸送手段が問題でした。と言うのも、その頃の街道は、幅はわずか2m程度で、雨が降れば泥に沈むような細く曲がりくねった道だったからです。そこで、最新技術を導入し日本初となる「舗装」

と

明治24(1891)年発行  
辻川だより23号(平成24年9月22日発行)より

【図の解説】  
神崎郡役所は明治19年に神東・神西郡役所として建てられ、明治29年に神崎郡役所と改称している。JR播但線は「播但鉄道」として明治25年に福崎まで開通し、明治28年には生野―飾磨間が開通した。馬車や荷車による物流と行政機構の拠点であった辻川と、鉄道により発展する福崎駅前をつなぐ神崎橋が架設されたのは明治30年前後であった

いう概念を取り入れた幅が6〜7mもあるまっすぐな高速産業道路が建設されたのです。この「銀の馬車道」は、日本の近代化に大いに貢献し、現在、日本遺産に登録されています。

平成24年9月発行の「辻川だより」第23号に掲載されている明治24年当時の地図(図1)に、井ノ口から辻川を経て西光寺へと続く「銀の馬車道」が、はっきりと見て取れます。

◆5月24日(日) 溝普請

「田植え」前に、溝普請が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためにマスクをつけての作業となりました。朝から夏を感じさせる暑さの中でしたが、皆様のご協力によりきれいになりました。



編集後記

「銀の馬車道」についてネットで検索すると随所に「辻川」が出てきます。当時から地域の交通や文化の中心であったことがわかり、歴史の中で「辻川」の果たした役割の大きさを感しました。「吉田